

農学研究科

●研究科の教育理念と教育目的

本研究科は、学部と一貫して、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、本研究科は、学部で培われた基礎知識と応用能力の上に、さらに高度な専門知識・能力を身につけた高等技術者及び研究者を育成することを教育目的としています。

●研究科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

1. <知識・理解>

生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識と技術を修得している。

2. <思考・判断>

循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。

3. <関心・意欲、態度>

上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

4. <技能・表現>

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力を有している。

●研究科のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

本研究科は、学部と一貫して、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもつ学生であって、さらに、学部で培われた基礎知識と応用能力をもつ学生、再学習や先端技術の修得に意欲をもつ社会人・留学生など、多様な学生を受け入れることをアドミッション・ポリシーとしています。具体的な方策としては、基礎知識と応用能力に重点を置いた9つの専門教育コース、目的意識や意欲に重点を置いた社会人リフレッシュコース、紙産業特別コース、森林環境管理特別コース、アジア・アフリカ・環太平洋諸国からの留学生を対象とした特別コースを設け、学生を受け入れています。

1. <知識・理解>

生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する大学学部レベル相当の専門知識と技術を有している。

2. <思考・判断>

循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的に説明し、解決策を見出すための基礎的能力を有している。

3. <関心・意欲、態度>

上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

4. <技能・表現>

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有している。